

クラブ活動報告

「けやき大通りを歩こう」ベンチ設置事業

和歌山東南ロータリークラブ
会長 小林 一三

JR 和歌山駅から和歌山城大手門方面へ向かう（約 1.5km）幅員約 50 mの和歌山市を代表する目抜き通り「けやき大通り」があります。

最近では、和歌山市の活性化プロジェクトの一つとして JR 和歌山駅から南海和歌山市駅までの大通り沿いの街路樹にイルミネーションが行われているほか、海外、県外からの観光客も歩行による和歌山城観光が増えてきております。

このような状況のなかで、地域の方、観光客が「『けやき大通り』の歩道」を歩いていても休憩できるベンチがほとんどありませんでした。そこで、今年度の「社会奉仕事業」と和歌山東南ロータリークラブの創立「55 周年記念事業」の一つとして、

和歌山県のけやき大通り歩道に 7 基、和歌山市の和歌山城ホール屋上に 3 基の計 10 基の「紀州材のベンチ」を設置し、和歌山県と和歌山市に寄贈いたしました。

この活動には、和歌山市の散策途中の休憩の場となり、自然の温もりを感じながら、子どもからご高齢の方まで、どなたでも気軽に腰を下ろしていただける存在であってほしい、そんな思いを込めております。

